

『糖尿病神経障害－成因に基づく治療とその展望』

糖尿病神経障害発症の主な機構が探索され、成因に基づいた治療により糖尿病患者のQOLや予後を改善し、さらに神経障害の進展を抑えることも可能になりつつある。本セミナーでは糖尿病神経障害の成因から治療、今後の展望までホットトピックスを紹介する。

第53回 日本糖尿病学会年次学術集会

ランチョンセミナー17



日時

2010年5月27日(木) 12:30～13:20

会場

国際交流センター 2F 国際会議場 第19会場

糖尿病神経障害

－成因に基づく治療とその展望－

座長 中部ろうさい病院 院長

堀田 饒 先生

演者 弘前大学大学院医学研究科 分子病態病理学 教授

八木橋 操六 先生

ランチョンセミナーは予約制でございます。予約をお済の方から優先的にご入場頂けます。

事前参加登録をされた方はセミナーの参加予約が可能となります。
事前参加登録時に申し込まれていない方、及び当日参加登録の方は、
当日、会場の「共催セミナー参加受付」にてセミナー参加予約
をお済ませください。

共催

第53回日本糖尿病学会年次学術集会
小野薬品工業株式会社